

粗大ごみ有料戸別収集事業が導入されました！

令和4年第3回定例会【一般質問】

Q 高齢者や運転免許返納者、障がいのある方は自力で粗大ごみを処分するのが困難な場合がある。負担軽減を図る対策を検討すべきではないか。

A 高齢者や障がいのある方の粗大ごみの対応については、他自治体の取組を参考にするとともに、現況と地域の状況を把握し、課題解決に向けた協議を重ねる。

令和5年第1回定例会【新年度予算】

高齢者、障がいのある方、搬出手段を持たない方など粗大ごみの排出が困難な方のごみ出しを支援するため、有料で粗大ごみの戸別収集を行う粗大ごみ有料戸別収集事業が導入されました。

粗大ごみ有料戸別収集制度の詳しい内容はこちらのQRコードよりご確認ください。



戸別収集時に利用する粗大ごみ処理券

給食費が無償化されました！

令和5年第1回定例会【一般質問】

Q 学校給食法では食材費は保護者負担とすることが原則とされているが、子育て支援として、学校給食費を無償にすべきではないか。

A 急激な物価高騰に対する取り組みとして、値上げを予定する自治体もある中、能美市においては現行の保護者負担を増加させないために、食材費高騰分の補助及び学校間の保護者負担を均一化する補助を予定している。

令和5年第2回定例会【補正予算】

市内小中学校児童の学校給食費を段階的に無償化し、物価高騰の影響を受けている保護者の負担を軽減しました。令和7年度の予算は約3億2,400万円となっています。



4,365人分の給食が無償化されています



その他にも議員の提言により変動型最低制限価格制度の導入、自治公民館のWi-Fi環境整備、デジタル地域通貨の導入等が実現しました。今後も政策提言をしっかりと行ってまいります！

こんなことが実現しました！

議員提言が反映された事業！！

今回は議員がこれまで行ってきた質問や提言が市政にどのように反映されているのか、令和3年12月議会から現在までの一般質問の一部を取りあげて紹介します。

がん患者補正具等の購入費助成制度が導入されました！

令和3年第4回定例会【一般質問】

Q がん患者のために医療用ウィッグや乳房補正具の購入費を一部助成してはどうか。

A すでに取り組んでいる自治体を参考に、医療機関との連携により市民ニーズの把握に努め、制度の導入を検討する。

令和4年第1回定例会【新年度予算】

がん治療を受けている方の経済的な負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上、就労等の社会生活を支援することを目的としたがん患者補正具等購入助成事業が導入されました。

助成額

購入費用の2分の1（1,000円未満切り捨て）
・医療用ウィッグ 3万円（1回限り）
・乳房補正具 左右各2万円（年1回）



医療用ウィッグイメージ図



乳房補正具イメージ図

公共ライドシェアサービスの実証運行が始まりました！

令和5年第4回定例会【一般質問】

Q のみバスを補完するためのライドシェアの導入を検討せよ。

A 国の動向を注視するとともに、先進自治体の事例を研究し、慎重に検討する。

令和7年第1回定例会【新年度予算】

のみバスを補完する新たな移動サービスとして、利用者の自宅付近の停留所と目的地を結ぶ自家用車の相乗りサービス、能美市版公共ライドシェア「ノルノミ」の実証運行が始まりました。

ノルノミの詳しい内容はこちらのQRコードよりご確認ください。



ノルノミのサービスイメージ図